

# 日本における高病原性鳥インフルエンザの確認状況

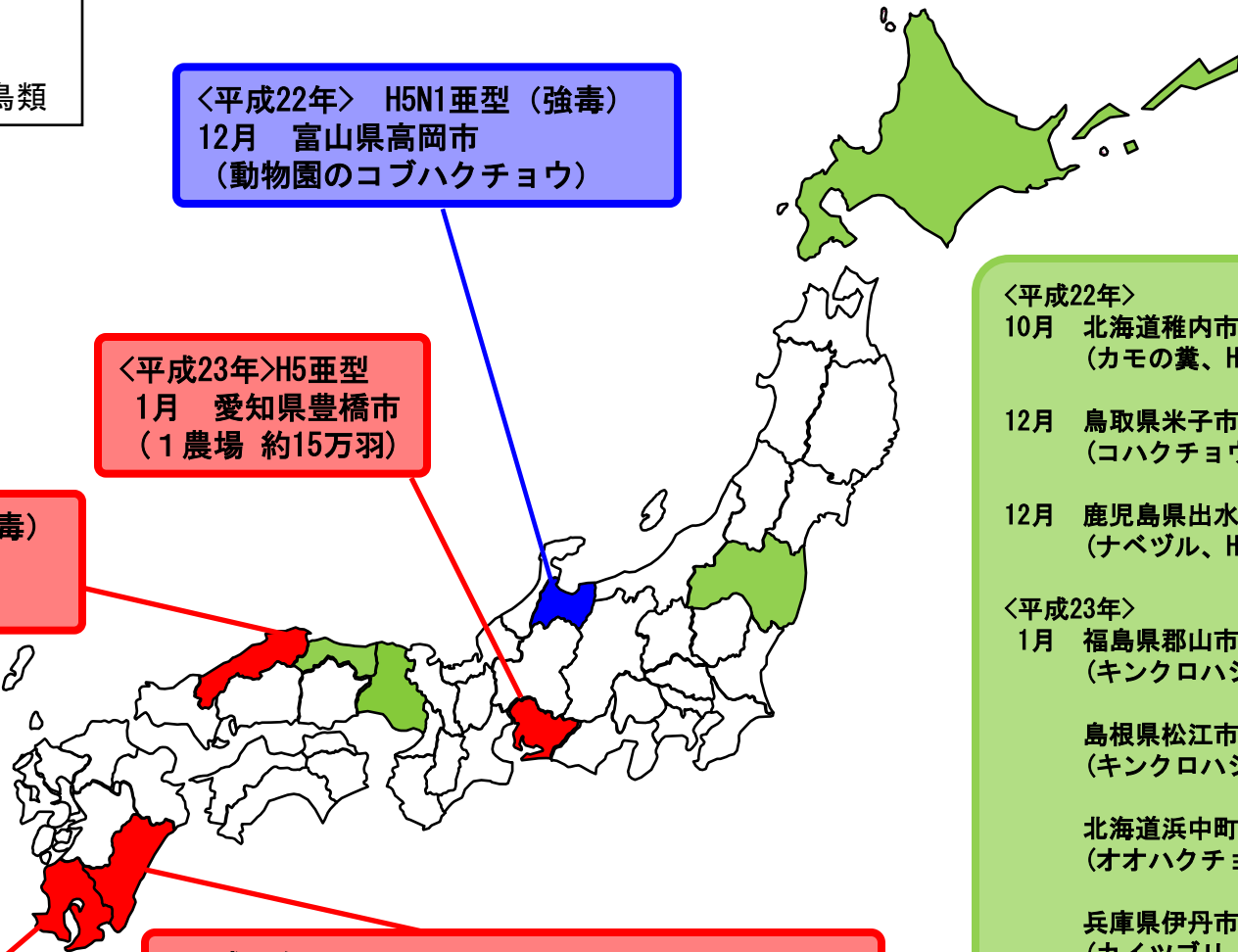
- 家きん
- 野鳥
- 家きん以外の鳥類

＜平成22年＞ H5N1亜型（強毒）  
12月 富山県高岡市  
（動物園のコブハクチョウ）

＜平成23年＞H5亜型  
1月 愛知県豊橋市  
（1農場 約15万羽）

＜平成22年＞ H5N1亜型（強毒）  
11月 島根県安来市  
（1農場 約2万羽）

- ＜平成22年＞
- 10月 北海道稚内市  
（カモの糞、H5N1亜型（強毒））
  - 12月 鳥取県米子市  
（コハクチョウ、H5N1亜型（強毒））
  - 12月 鹿児島県出水市  
（ナベヅル、H5N1亜型（強毒））
- ＜平成23年＞
- 1月 福島県郡山市  
（キンクロハジロ、H5N1亜型（強毒））
  - 島根県松江市  
（キンクロハジロ、H5N1亜型（強毒））
  - 北海道浜中町  
（オオハクチョウ等、H5N1亜型（強毒））
  - 兵庫県伊丹市  
（カイツブリ、H5亜型）



＜平成23年＞ H5亜型  
1月 鹿児島県出水市  
（1農場 約8600羽）

＜平成23年＞  
1月 宮崎県宮崎市、新富町：H5N1亜型（強毒）  
都農町：H5亜型  
（3農場 約43万羽）

平成23年1月27日